

70th
弾む未来へ

証券コード 5991

2008年度報告書



株主の皆さまへ

2008年4月1日～2009年3月31日



NHKニッパツ

日本発条株式会社

ご あ い さ つ

C O N T E N T S

1	ごあいさつ
3	トピックス
事業概況	
5	懸架ばね事業
6	シート事業
7	精密部品事業
8	産業機器ほか事業
決算情報	
連結情報	
9	連結貸借対照表
10	連結損益計算書
10	連結キャッシュ・フロー計算書
10	連結株主資本等変動計算書
11	業績の推移(連結)
単独情報	
12	貸借対照表
12	損益計算書
12	株主資本等変動計算書
13	業績の推移(単独)
14	株式概況
14	役員・株価の推移
裏表紙	当社・グループ概要・株主メモ



代表取締役社長
天木 武彦

代表取締役会長
佐々木 謙二

当社グループの2008年度報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期における日本経済は、期の前半には原油・原材料の価格高騰、消費者物価上昇、輸出の伸び鈍化から景気の停滞感が強まりました。さらに期の後半に入り、米国の金融不安から、世界経済が急速に悪化した影響で輸出が激減し、過去に経験したことのないような景気の落ち込みをみせました。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、国内販売では4,701千台となり前期比11.6%の減少となりました。完成車輸出は5,603千台となり前期比17.2%の減少となりました。これにより国内の自動車生産台数は9,994千台となり前期比15.2%の減少となりましたが、特に期の後半では前期比33.4%の減少と大幅な減産が行われました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報機器関連では、HDD（ハードディスク駆動装置）の生産が期の後半の在庫調整により、大きく落ち込みました。

以上のように厳しい経営環境のもと、大幅な受注減から売上高は440,908百万円で前期比9.1%の減収となりました。また収益面では、受注量に応じた人員の適正な配置、操業時間の短縮、設備投資の圧縮など原価低減のための諸施策を実施しましたが、それを上回る環境悪化により、営業利益は10,459百万円で前期比65.5%の減益、経常利益は12,925百万円で前期比58.8%の減益、当期純利益は5,262百万円で前期比74.2%の減益となりました。

なお、当期の期末配当金は、昨年10月以降の急激な環境悪化と先行きの不透明感から、1株につき3.50円といたしました。

世界経済は各国政府の景気対策などにより底を打ちつ

つありますが、回復にはしばらく時間がかかると考えられます。これにより、輸出依存度の高い日本経済にとりましては、2009年度も厳しい環境が続くと予想されます。

自動車関連では、在庫調整のための大幅な減産は落ち着くと考えられますが、販売の本格的な回復の遅れから、国内自動車生産台数は2008年度と比べ減少すると予想されます。また情報機器関連でも、HDDは景気動向に左右されやすい状況が続くと予想されます。

このように大変厳しい環境ではありますが、受注量に応じたフレキシブルな生産体制を確立するとともに、品質・コスト・技術面での優位性を高めて、次の飛躍に備える体質強化の機会と認識しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役会長

佐々木謙二

代表取締役社長

天本武秀

TOPIC 1

横浜開港150周年、そして当社創立70周年 これからも社会の発展のために

2009年、当社が本社を置く横浜市は、開港150周年を迎えました。これを記念して数多くのイベントが開催されています。その中心となって活動を推進する横浜開港150周年協会の会長に、当社の佐々木会長が就任しており、当社も積極的に支援しています。4月28日に開幕したテーマイベント「開国博Y150」では、昨年秋から当社の広告に起用している「鉄人28号」を各所に掲出し、横浜市民や横浜を訪れる人々たちに向け、横浜のPRに一役買っています。

また当社は、この横浜開港150周年と時を合わせるように、今年9月8日、創立70周年を迎えます。横浜で育ち、地元根ざした企業として、昨年スタートした「ニッパツ三ツ沢球技場」を含め、横浜そして社会の発展に貢献し続けていきます。



2年目を迎え、すっかり定着した「ニッパツ三ツ沢球技場」



「開国博Y150」のオープニングで、中田横浜市長らとともにテープカットを行う佐々木会長（右から2人目）



イベント会場を結ぶシャトルバスなどに「鉄人28号」をあしらったラッピング広告でPR



「開国博Y150」の来場者につくってもらうための休憩施設に協賛

TOPIC 2

当社キャラクターに「鉄人28号」を起用 広告、採用活動などに展開

当社は、企業のイメージキャラクターとして「鉄人28号」を起用し、さまざまなところに展開しています。昨年10月から新しいテレビコマーシャルを放映し始めたのを皮切りに、当社ホームページ、横浜駅などの看板、採用活動のツールなど、あたかも本物の金属で造ったような質感のあるCGを使い統一的に登場させています。特に、採用活動向けの駅

貼りポスター3部作は、「第30回日本BtoB広告賞」で特別賞を受賞しました。今後も、当社の真の姿を理解してもらおうきっかけづくりを展開を図っていく予定です。



リアル感のあるテレビCM



高い評価を受けた駅貼りポスター



TOPIC 3

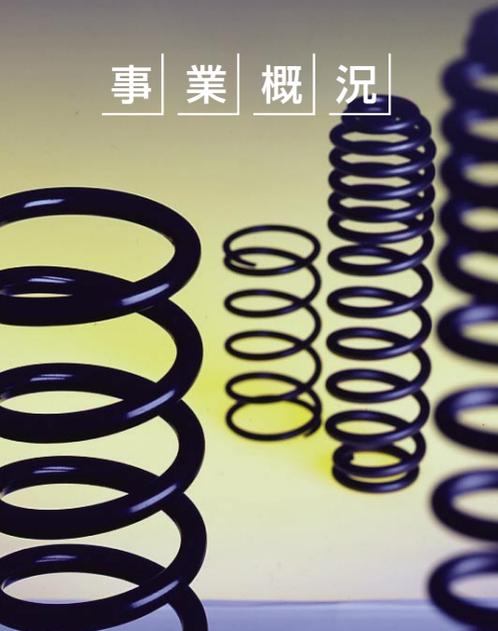
「横浜型地域貢献企業」に認定される

当社は横浜市から「横浜型地域貢献企業」に認定され、2009年4月3日、横浜シンポジアで、中田市長から天木社長に認定証が手渡されました。この制度は、雇用や取引などで地域を意識した経営やCSR活動を行う市内企業を支援するもので、これまで40社が認定されており、今回新たに認定された28社の中に選ばれたものです。当社は今後も横浜市に本社をおく企業として、ものづくりとともに、環境保全、雇用などあらゆる面で地域に貢献していきたいと考えています。



中田市長から認定証を受け取る天木社長(右)

事業概況



懸架ばね事業

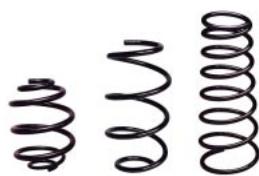
Suspension springs

懸架ばね事業の売上高は101,194百万円で前期比13.4%の減収、営業利益は344百万円で前期比92.8%の減益となりました。自動車生産の減少・車種構成の悪化により減収減益となりました。

国内では、自動車生産全体の減少に加え商用トラック生産の減少が売上・収益の悪化に影響しました。北米では、自動車減産の影響で売上は減少しましたが、売価の改善および生産性向上努力の結果、収益が改善しました。アジアでは、タイでの円高の影響およびSUV系車種の生産鈍化により売上・収益が減少しました。

主要製品

- 板ばね
- コイルばね
- スタビライザ
- トーションバー
- スタビライザリンク
- ガススプリング
- スタビリンカーほか



コイルばね



スタビライザ

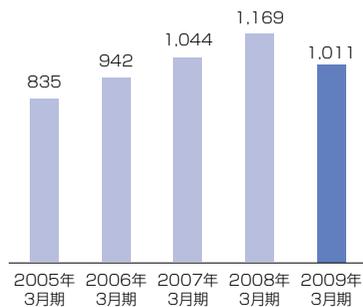


テーパリーフスプリング

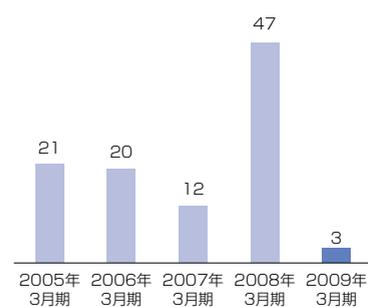
■ 懸架ばね事業の売上高・構成比



■ 売上高の推移 (億円)



■ 営業利益の推移 (億円)





シート事業

Seating

シート事業の売上高は169,870百万円で前期比1.0%の減収、営業利益は3,537百万円で前期比56.0%の減益となりました。受注車種の新車効果により売上の減少は軽微に止まりましたが、車種構成の悪化が収益に影響しました。

国内では、新車効果から売上は増加しましたが、SUV系車種の減少から収益は悪化しました。北米では、自動車減産の影響は軽微に止まりました。アジアでは、2007年7月にタイ オートモーティブ シーティング&インテリア社の株式を譲渡し連結対象外とした影響により売上が減少しました。

主要製品 | 自動車用シート
シート用機構部品
内装品ほか



乗用車用スポーツシート

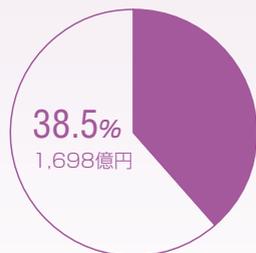


アクティブヘッドレスト機構

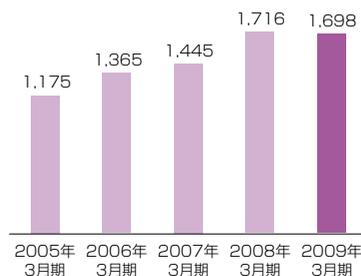


乗員のむち打ち傷害を軽減

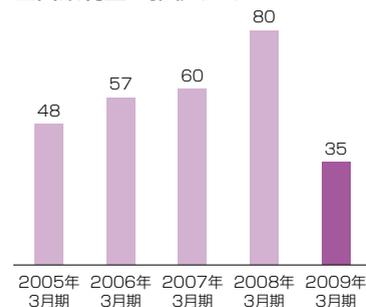
■シート事業の売上高・構成比



■売上高の推移 (億円)



■営業利益の推移 (億円)





精密部品事業

Precision springs and components

精密部品事業の売上高は132,404百万円で前期比14.4%の減収、営業利益は4,333百万円で70.0%の減益となりました。自動車生産の減少、HDD用サスペンションの減少および円高のマイナス影響により減収減益となりました。

国内では、自動車生産の減少、HDD用サスペンションの減少および円高のマイナス影響により大幅な売上減となりました。アジアでは、NHKスプリング(タイランド)社のHDD用サスペンション生産本格化、中国でのHDD用機構部品の立ち上がりから、売上が拡大しました。

主要製品

- HDD用サスペンション
- HDD用機構部品
- 線ばね
- 薄板ばね
- 液晶・半導体検査用プローブユニット
- 精密加工品
- ろう付製品
- セラミック製品
- プリント配線板
- セキュリティ製品ほか



HDD用サスペンション



HDD用機構部品

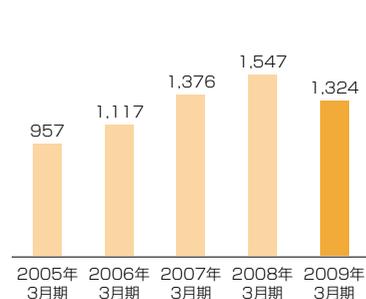


各種精密部品

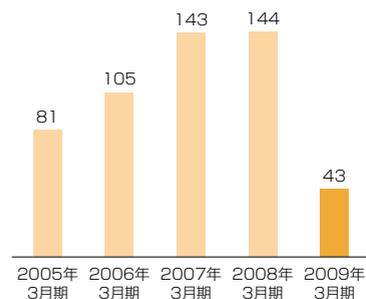
■ 精密部品事業の売上高・構成比



■ 売上高の推移 (億円)



■ 営業利益の推移 (億円)





産業機器ほか事業

Industrial machinery and equipment, and other

産業機器ほか事業の売上高は37,438百万円で前期比10.1%の減収、営業利益は2,244百万円で前期比27.9%の減益となりました。

国内景気低迷の影響から、減収減益となりました。

主要製品

- ばね機構品
- 配管支持装置
- 駐車装置
- ポリウレタン製品
- 照明器具
- ゴルフシャフトほか



配管支持装置



ポリウレタン製品

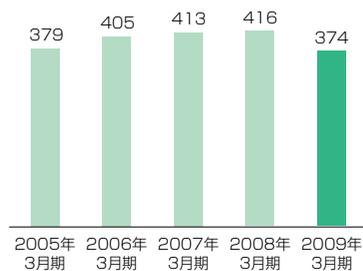


ゴルフシャフト・金属バット

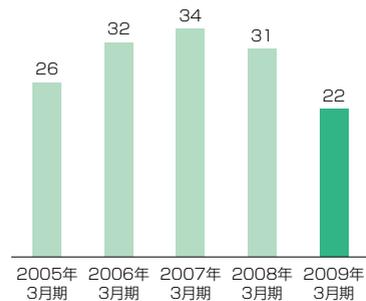
産業機器ほか事業の売上高・構成比



売上高の推移 (億円)



営業利益の推移 (億円)



決算情報 (連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2009年3月期	2008年3月期	科目	2009年3月期	2008年3月期
資産の部	324,888	401,069	負債の部	199,843	241,746
流動資産	143,865	182,046	流動負債	141,160	180,664
現金及び預金	31,490	27,129	支払手形及び買掛金	68,373	116,193
受取手形及び売掛金	61,241	98,324	短期借入金	46,941	34,713
棚卸資産	34,845	38,994	その他	25,845	29,757
繰延税金資産	3,891	4,482	固定負債	58,683	61,082
その他	12,757	13,806	長期借入金	36,115	29,812
貸倒引当金	△360	△691	リース債務	3,512	—
固定資産	181,023	219,022	繰延税金負債	4,267	14,814
有形固定資産	133,439	140,192	退職給付引当金	14,522	16,293
建物及び構築物	43,392	47,548	その他	265	161
機械装置及び運搬具	44,872	52,332			
土地	27,332	27,419	純資産の部	125,044	159,322
リース資産	3,828	—	株主資本	119,060	121,058
建設仮勘定	7,116	3,362	資本金	17,009	17,009
その他	6,897	9,529	資本剰余金	17,295	17,295
無形固定資産	3,874	4,368	利益剰余金	89,408	87,604
のれん	998	1,751	自己株式	△4,653	△852
その他	2,876	2,617	評価・換算差額等	△3,098	28,169
投資その他の資産	43,709	74,461	その他有価証券評価差額金	7,534	23,827
投資有価証券	37,170	67,725	繰延ヘッジ損益	0	△31
長期貸付金	1,104	919	為替換算調整勘定	△10,632	4,372
繰延税金資産	1,668	1,461			
その他	4,179	4,682	少数株主持分	9,082	10,094
貸倒引当金	△414	△327			
資産合計	324,888	401,069	負債純資産合計	324,888	401,069

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	2008年4月 ～2009年3月	2007年4月 ～2008年3月
売上高	440,908	484,878
売上原価	396,219	419,028
販売費及び一般管理費	34,229	35,494
営業利益	10,459	30,356
営業外収益	6,172	5,933
営業外費用	3,706	4,952
経常利益	12,925	31,336
特別利益	230	3,420
特別損失	3,548	286
税金等調整前当期純利益	9,608	34,470
法人税、住民税及び事業税	2,076	10,589
法人税等調整額	1,886	1,362
少数株主利益	382	2,156
当期純利益	5,262	20,361

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	2008年4月 ～2009年3月	2007年4月 ～2008年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,639	34,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,303	△34,794
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,806	△12,962
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△3,353	△920
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	5,788	△14,447
現金及び現金同等物の 期首残高	26,394	39,973
新規連結に伴う現金及び 現金同等物増加額	—	869
連結子会社と非連結子会社との合併に 伴う現金及び現金同等物の増加額	69	—
現金及び現金同等物の 期末残高	32,253	26,394

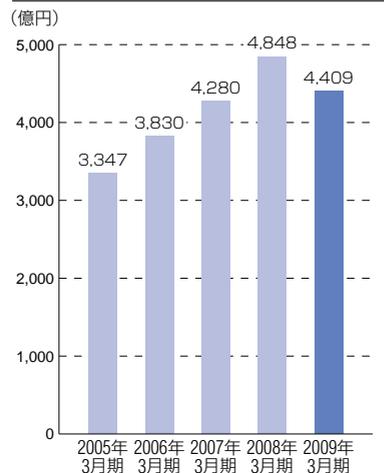
連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

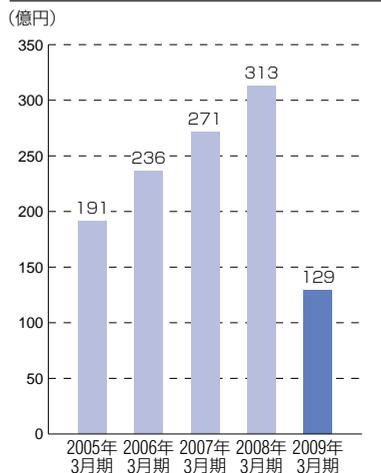
	株主資本					評価・換算差額等				少数 株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主 資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2008年3月末残高	17,009	17,295	87,604	△852	121,058	23,827	△31	4,372	28,169	10,094	159,322
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			202		202						202
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△3,355		△3,355						△3,355
その他の包括損失			△305		△305						△305
当期純利益			5,262		5,262						5,262
自己株式の取得				△3,801	△3,801						△3,801
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△16,293	31	△15,005	△31,267	△1,011	△32,279
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,601	△3,801	△2,200	△16,293	31	△15,005	△31,267	△1,011	△34,480
2009年3月末残高	17,009	17,295	89,408	△4,653	119,060	7,534	0	△10,632	△3,098	9,082	125,044

業績の推移 (連結)

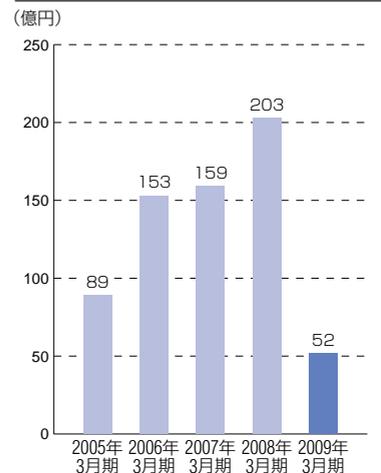
売上高



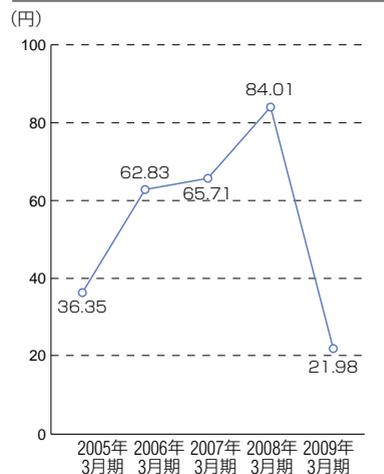
経常利益



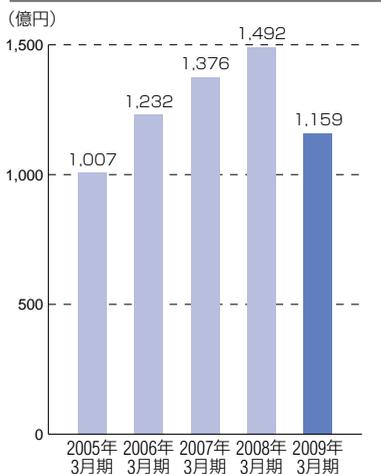
当期純利益



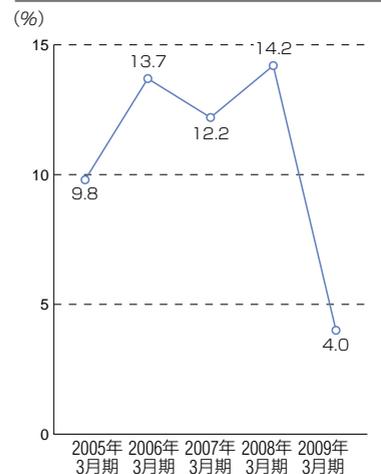
EPS (1株当たり当期純利益)



自己資本



ROE (株主資本利益率)



決算情報 (単独)

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2009年3月期	2008年3月期
資産の部	214,751	266,209
流動資産	84,649	101,212
固定資産	130,102	164,997
資産合計	214,751	266,209
負債の部	131,474	157,429
流動負債	90,959	110,940
固定負債	40,514	46,489
純資産の部	83,277	108,779
株主資本	75,758	85,521
評価・換算差額等	7,519	23,258
負債純資産合計	214,751	266,209

損益計算書

(単位:百万円)

科目	2008年4月 ~2009年3月	2007年4月 ~2008年3月
売上高	239,193	266,770
売上原価	221,234	234,105
販売費及び一般管理費	17,738	18,602
営業利益	220	14,061
営業外収益	6,623	5,804
営業外費用	2,049	3,289
経常利益	4,794	16,575
特別利益	421	1,763
特別損失	7,956	1,989
税引前当期純利益(△損失)	△2,741	16,349
法人税、住民税及び事業税	△425	5,230
法人税等調整額	289	1,199
当期純利益(△損失)	△2,606	9,920

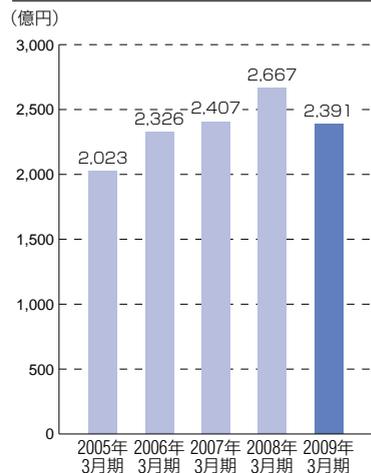
株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

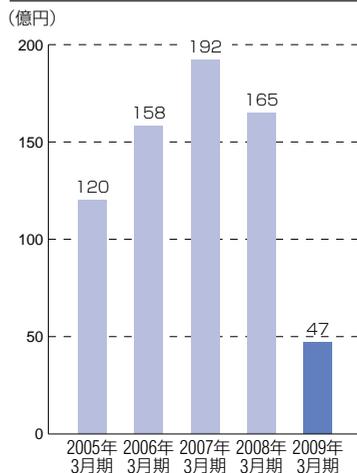
	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2008年3月末残高	17,009	17,295	52,015	△799	85,521	23,258	108,779
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△3,355		△3,355		△3,355
当期純損失			△2,606		△2,606		△2,606
自己株式の取得				△3,801	△3,801		△3,801
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△15,738	△15,738
事業年度中の変動額合計	—	—	△5,961	△3,801	△9,763	△15,738	△25,502
2009年3月末残高	17,009	17,295	46,053	△4,600	75,758	7,519	83,277

業績の推移 (単独)

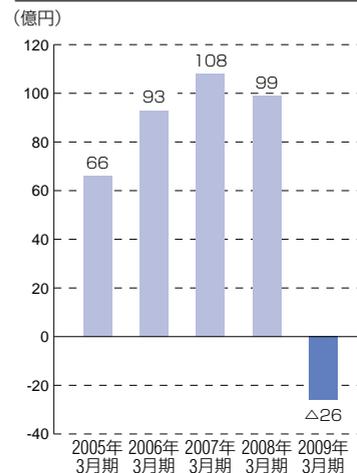
売上高



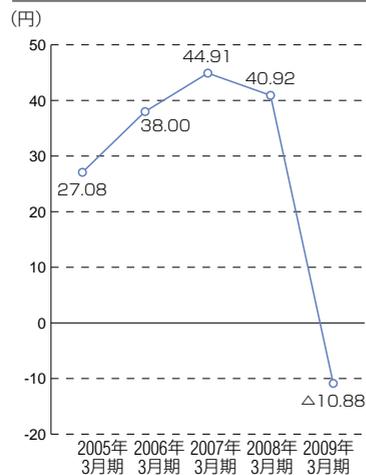
経常利益



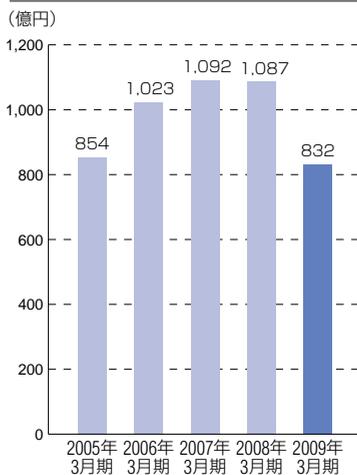
当期純利益



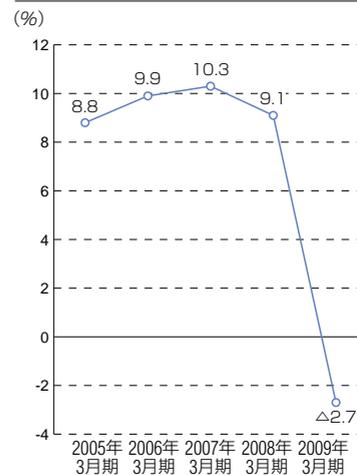
EPS (1株当たり当期純利益)



自己資本



ROE (株主資本利益率)



株式概況

株式の状況

(2009年3月31日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	15,018名

大株主

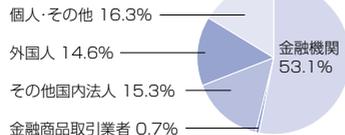
(2009年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
三菱UFJ信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者日本マスタートラスト信託銀行株式会社	30,892	12.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	21,538	8.8
双日株式会社	14,776	6.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	11,408	4.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,291	4.6
株式会社メタルワン	11,118	4.6
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 神戸製鋼所口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	9,504	3.9
日本発条株式会社	7,089	2.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	5,753	2.4
株式会社横浜銀行	5,564	2.3

株式の分布状況

(2009年3月31日現在)

所有者別株数比率



所有数別株数比率



中間配当

2008年11月12日開催の取締役会の決議に基づき、同年12月5日、1株につき7円の中間配当を実施いたしました。

役員・株価の推移

取締役・監査役

(2009年6月26日現在)

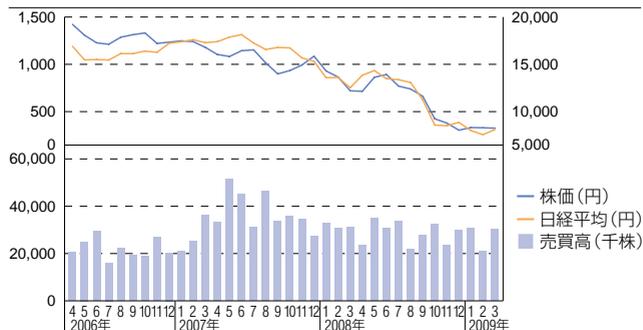
代表取締役会長	佐々木謙二	常勤監査役	木村 雅彦
代表取締役社長	天木 武彦	常勤監査役	高橋 秀敏
代表取締役副社長	長澤 國雄	監査役	嶋尾 正
代表取締役副社長	布施 武	監査役	小森 晋
取締役専務執行役員	山口 努		
取締役専務執行役員	玉村 和己		
取締役専務執行役員	山崎 章		

執行役員(取締役兼務者を除く)

(2009年6月26日現在)

専務執行役員	齋藤 哲夫	執行役員	平間 恒彦
専務執行役員	原 章一	執行役員	梅村 太郎
常務執行役員	安田 滋	執行役員	山本 秀夫
常務執行役員	糸井 孝夫	執行役員	森岡 洋正
常務執行役員	河久保光茂	執行役員	瓜生誠二郎
常務執行役員	畑山 薫	執行役員	城所 英明
執行役員	嘉戸 広之	執行役員	八代 隆二
執行役員	梅林 彰	執行役員	小西 幸彦
執行役員	浜野 俊雄	執行役員	片山 仁彦
執行役員	本多 明廣	執行役員	前田 正彦

当社株価・売買高の推移



当社の概要 (2009年3月31日現在)

創業	1931年一芝浦スプリング製作所
会社設立	1939年9月8日
資本金	170億956万6,312円
従業員数	4,168名 ※臨時従業員を含む
事業所	【本社】 横浜 【営業拠点】 東京、横浜、北関東(群馬)、浜松、名古屋、 大阪、広島、福岡 【工場】 横浜(ばね/シート)、滋賀、群馬、豊田、厚木、 伊那、駒ヶ根(DDS/産機)、伊勢原、野洲

グループの概要 (2009年3月31日現在)

従業員数	15,869名 ※臨時従業員を含む
国内関連会社	33社
	うち連結子会社 14社
	持分法適用非連結子会社 2社
	持分法適用関連会社 5社
海外関連会社	28社
	うち連結子会社 11社
	持分法適用関連会社 3社

日本発条株式会社

〒236-0004 横浜市金沢区福浦三丁目10番地

電話 045-786-7511

<http://www.nhkspg.co.jp/>

株主メモ

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 定時株主総会 毎年6月
3. 基準日
定時株主総会 3月31日
配当金受領株主確定日 毎年3月31日および
中間配当を行う場合は9月30日
4. 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)
各種手続き用紙のご請求
電話 0120-244-479 (24時間自動音声応答)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
5. 公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<http://www.nhkspg.co.jp/>

【お知らせ】

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記 三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次いたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この冊子はアメリカ大豆協会認定
の大豆油インキと再生紙を使用し
ています。